

風流々

～第30号～

編集・発行 乙訓福祉施設事務組合 乙訓若竹苑

〒617-0813 長岡京市井ノ内西ノ口17-8

TEL 075-954-6501 FAX 075-954-6588

Mail otsufukuwakatakeen@lake.ocn.ne.jp

しんねん どの あいさつ
新年度のご挨拶

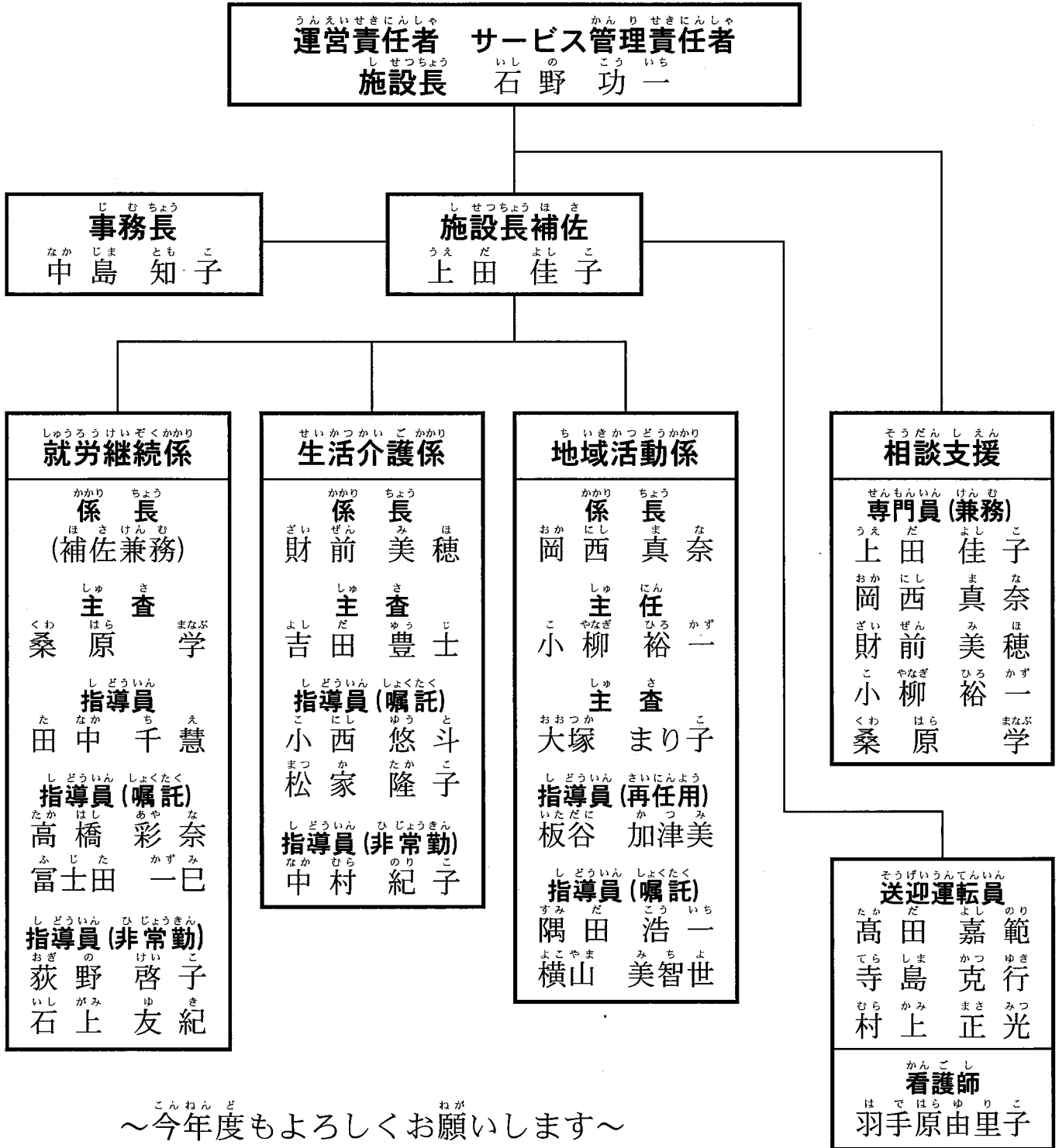
おと くに わか たけ えん
乙 訓 若 竹 苑
し せつ ちやう い し の こう いち
施設長 石 野 功 一

平成30年度がスタートいたしました。利用者、ご家族、関係各位の皆様におかれましては、平素より乙訓若竹苑の各事業の運営にご理解とご協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて乙訓若竹苑の事業開始から35年が過ぎ、利用者の方の平均年齢も少しずつ上がり、高齢化、障がいの重度化等の傾向も顕著になりつつあります。また、それにより若竹苑全体の利用者の平均利用率も少しずつ減ってきております。就労継続支援におきましては、一時期は利用者数が40名の定員を超えていた時もありましたが、現在は33名となっています。日中一時支援におきましても、28年度までは右肩上がりの利用状況が続いていましたが、昨年度は初めて前年度を下回りました。

今年度はこういった利用率の変化等に合わせた職員配置をするとともに、各事業の支援のあり方を見直すなど、事業の適正な運営を目指していく予定です。それとともに今後の事業展開におきましても、地域ニーズや利用者の方の状況等を踏まえながら、公立施設としてのあり方を構成団体である2市1町と協議をしながら考えていきたいと思っております。また、今年度は職員人事において、2名の係長が他課に異動となりました。このほか若竹苑内の事業間の異動や退職等により、就労継続係と地域活動係及び兼務となっている計画相談担当の職員配置に変更があります。しかし、どのような状況であれ、施設としては、「利用者にとってより良い生活を考えることが第一」と考えております。今年度におきましても、これまで以上に支援の充実に努めて参りたいと思っておりますので、今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

2018(平成30)年4月より、新体制にて支援を開始しています



～今年度もよろしくお願ひします～

はじめまして & おひさしぶりです

—新しい職員からのご挨拶—

あたら しゅうろうけいぞくかかりちようけん む うえ だ よし こ
施設長補佐(就労継続係長兼務) 上田 佳子

しばらく若竹苑を離れてましたが、再び皆さんと一緒に仕事をする
ことになりました。離れている間に若竹苑はそれぞれの事業で新たな商品が
売られていたり、行事が増えたり、利用者もいろいろなサービスを利用し
ながらの生活になっていたり、月日が経っていることを感じている毎日
です。時に厳しく、時に楽しく、皆さんにとっての若竹苑ライフが充実した
ものになるよう努力していきたいと思っています。よろしくお願ひします。

ち いきかつどうかかり かかりちよう おか にし ま な
地域活動係 係長 岡西 真奈

新しく地域活動支援係の係長となりました、岡西真奈です。私が若竹苑に
来てから、早くも約5年半がたちました。地域活動支援係で3年半、相談
支援事業で1年、育児休業を1年取らせて頂いてからの復帰です。1年ぶ
りの若竹苑、たかが1年されど1年。いろいろと変わっていて戸惑いな
がらではありますが、少しずつ若竹苑がみなさんにとってよりよい場所
になるよう頑張りたいと思います。

しゅうろうけいぞくかかり しどういん た なか ち え
就労継続係 指導員 田中 千慧

4月より就労継続係で働かせて頂いています。田中千慧と申します。前は、
障がいを持つ方のグループホーム・就労継続支援B型・生活訓練を行って
いる施設の世話人と支援員をしていました。結婚を機に退職し、長岡京市に引
越してきました。そして、ご縁があり若竹苑で働かせて頂くことになり
ました。若竹苑に来てからは、みなさんに毎日笑顔と元気を頂いています。私
も早く一人前になり、みなさんに安心して頂ける、笑顔と元気をお返しで
きる職員になれるよう精進していきます。よろしくお願ひ致します。

平成30年度が始まりました。生活介護事業は、前年度から職員の入替わりもなく、安定した環境で今年度のスタートが切れたのではないかと思います。前年度、生活介護事業は製品作りや創作に力を入れ、製品は今年初めに京都新聞に掲載して頂き、創作品は作品展や芸術祭に出展することができました。製品や創作品を通じて、関係者の方からは「見たよ!」「頑張ってはるね!」と声援を受け、一方からは「新聞を見て…」「牛乳パックの椅子作ってはるところ…」など問い合わせや注文があり、縁が深く、広がった1年だったように感じています。また、今年の3月からは、柴の里にあるhannaさんという雑貨屋さんで製品を置いてもらえることになりました。新たな場所で若竹苑を知ってもらえる機会ができ、嬉しく思っています。今後も利用者さんの感性あふれる作品、製品づくりをして、たくさんの人に見てもらえるよう、触れてもらえるように働きかけていきたいと思ひます。

生活介護事業での活動は、前年度から6名全員で行う全体活動と、少人数、時には職員とマンツーマンで行うグループ活動を組み合わせたプログラムを実施しています。グループ活動では、利用者さん自身に活動を選択してもらった時と、こちらでグループ分けをする時とをつくっています。活動の内容は、音楽や外出などを全体で、個々の希望やニーズに沿った活動をグループで行うようにしています。みんなでわいわいと楽しみたい時、体を動かしたい時、ゆっくり話を聞いてほしい時など、その時々利用者さんのニーズに沿った過ごし方ができることを目指していこうと思ひます。最近では、「午前中は室内でゆっくり過ごす」と午前中は室内活動を選ばれ、午後は作業に集中して取り組まれるという姿も見られています。疲れている時、体調・気分が優れない時にはゆっくり休み、頑張る時、楽しむ時には100%の力が出せるように、活動と休息のバランスが取れたメリハリのある生活を支援していきたいと思ひます。

地域活動係から

係長 岡西 真奈

地域活動支援係では、前係長の山田が5月にポニーの学校へ異動となり、他にも職員の異動などで職員数が減ったスタートとなりました。その中でも、大きな混乱はなくいつもの地域活動支援センターの雰囲気が流れています。そしてたがいま、活動内容の見直し中。

職員で話し合ったり、利用者さんと一緒にみんなで話し合ったり、個別で意見を聞いたり…。そこで、新しく始めたのが

1. 平日の午前中はプログラムを事前に決める。
2. 帰る前にみんなで掃除をする
3. 野菜の水やりは当番制にする

小さなことから、大きなことまで、まだまだ変わっていく地域活動支援センター。今年「一つ一つの活動を丁寧に、目的を持ってやっていく」を目標に、一人ひとりが輝ける場所になれるよう職員一同がんばっていきたいと思っています。

最後に、活動の一コマをお伝えしたいと思います

- ・火曜日の「空き缶つぶし」は、井ノ内地域の皆様、セブンイレブン長岡京西ノ口店様、他にも多くの方々の協力があったたくさん収集。機械でつぶしていくのですが、大量なので「缶を洗う」チーム「缶をつぶす」チームに分かれて協力して進めています。今は地域活動支援センターの利用者さんの工賃の主な収入源です。
- ・金曜日に新しくはじめた「創作活動」の時間には、ふだん「絵なんか描かへんし…」と言っていた方に「それじゃ塗り絵でもどう？」と進めてみたら、2時間ずっと丁寧に様々な色を使って塗り上げられていました。新たな発見です。

就労継続係から

し せつちよう ほ さ かかりちようけん む う え だ よし こ
施設長補佐(係長兼務) 上田 佳子

しゅうろうけいぞく したう さぎょう ちか ふくししせつ せいそう い ほかそうじ
就労継続では下請け作業をしたり、近くの福祉施設の清掃に行ったり、お墓掃除
や除草作業を受注して毎日仕事に勤しんでいます。

したう さぎょう ぶひん なん ぶひん し たずさ
下請け作業では「この部品は何の部品なんだろう」、「このメーカー知ってる」と携
わっている仕事に関心を持って取り組んでいる姿勢を見ることができます。また、
だんだん仕事をする手際が良くなり、びっくりするくらいの速さと正確さで作業
をこなされています。

ふくししせつ せいそう まいにちそうじ も
福祉施設での清掃は毎日掃除をすることできれいになっているとプライドを持っ
ておられます。また「こんな風にやったらどうかな」と工夫してよりよいやり方
で清掃をしています。

ほかそうじ じょうさぎょう す ひと しごと よてい はい せっきよくてき さんか
お墓掃除や除草作業は好きだという人が仕事の予定が入ると積極的に参加してく
れて、草がなくなった場所を見て「頑張った～」と達成感が得られることが魅力的
なようです。

さいきん じしゅせいひん ていちよう あら と く そ しんせいひん かい
最近では自主製品が低調ですが、新たに取り組んでいるべんがら染めで新製品を開
発したり、品質はいいと評判の洗濯ばさみ、絵柄が楽しい刺し子ふきんなど販売
をしています。何かヒット作を作ろうと密かな野望を抱いています。

しごと つづ いきぬ ひつよう つき かい きかく
また、仕事を続けるには息抜きも必要ということで月1回レクリエーションを企画
して、買い物に行ったり、ボーリングに行ったりして、毎日仕事を頑張っている
ご褒美を自分にはしています。

<編集後記>

りようしゃ かぞく みな こんねん ど ねん かい わかたげえん とどけ
利用者やご家族の皆さまに、今年度は年4回、若竹苑のニュースをお届け
できればと... 担当職員一同、奮闘をしています。どうぞよろしくお願
いいたします。